

高大連携事例報告～日本大学の無限の可能性～

Case Study of High School-University Collaboration

南澤 宏明

(日本大学生産工学部教養・基礎科学系 教授)

高校と大学とのネットワークの構築を意味する高大連携は SDGs の 4 番目のゴール：

「質の高い教育をみんなに」と 17 番目のゴール：「パートナーシップで目標を達成しよう」の 2 つのゴールと合致する。一方、現代は急速なグローバル化およびデジタル化により、不確実で、将来の予測が困難な社会（VUCA 時代）と言われている。このような困難な時代を乗り越えるために文部科学省は「生きる力」を提唱しており、「確かな学力」はその重要な構成要素のひとつである。そこでは知の蓄積と融合による人間や社会の総合的理解と課題解決に資する「総合知」の創出・活用が重要となる。高大連携ではこの高校と大学のネットワークにより「総合知」の獲得を目指す。

本講演では高大連携の概要、日本大学および他大学における高大連携の取り組み、高校側から見た高大連携、今後の日本大学の高大連携の可能性について述べる。日本大学と付属高校との間には平成 31 年 4 月 1 日に「日本大学と付属高校等の連携教育に関する協定書」が締結されており、全学的な取り組みができる状況にある。現在行われている最も一般的な高大連携は科目等履修生制度であるが、この制度は大学にとっても高校にとっても学生の確保、生徒の進学先の確保になるため非常に有効であるが、本来の SDGs の 4 と 17 のゴールとは主旨が多少異なる。その他には高校の授業である「総合的な探究の時間」への大学の協力が挙げられる。生徒の「探究」のニーズに対応できるだけのシーズを大学は擁しているため、より深い学びが実現できる。本学では少なかったが SDGs そのものを高大連携で取り組んでいる大学もあった。

日本大学が DX と対面によるハイブリッド型の SDGs に関する高大連携の取り組みが付属高校のみならず、地域の高校などとの連携に広がることが期待される。

High school-university partnerships meaning the establishment of networks between high schools and universities, and is in line with two of the SDGs goals, Goal 4: Quality Education for All and goal 17: Achieve the Goals through Partnerships. On the other hand, today's society is said to be uncertain and difficult to predict the future (the VUCA era) due to rapid globalization and digitalization. In order to overcome these difficulties, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) advocates a "zest for life," and "solid academic ability" is one of the important components of this concept. In this context, it is important to create and utilize "Convergence knowledge" that contributes to a comprehensive understanding of people and society and problem solving through the accumulation and fusion of knowledge. The goal of high school-university cooperation is to acquire "Convergence knowledge" through this network between high schools and universities.

In this wide, an overview of high school-university collaboration, high school-university collaboration Initiatives at Nihon University and other universities, high school-university collaboration from the high school side, and possibilities in future for high school-university collaboration at Nihon University in SDGs side was lectured.

■SDGsの分類（番号と目標）

・Goal 4：すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する（質の高い教育をみんなに）

Ensure inclusive and equitable quality education and promote lifelong learning opportunities for all

・Goal 17：持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する（パートナーシップで目標を達成しよう）

Strengthen the means of implementation and revitalize the global partnership for sustainable development

■ご略歴

昭和 55 年 3 月 岩手県立盛岡第一高等学校 卒業

昭和 55 年 4 月 日本大学生産工学部工業化学科 入学

昭和 59 年 3 月 同 卒業

昭和 59 年 4 月 日本大学大学院生産工学研究科工業化学博士前期課程 入学

昭和 61 年 3 月 同 修了

昭和 61 年 4 月 日本大学生産工学部 勤務

助手，専任講師，助教授を経て，

平成 18 年 4 月 日本大学教授 現在に至る

平成 12 年 3 月 日本大学より博士（工学）を授与

「微量金属イオンのキチンおよびキトサンによる分離濃縮／原子吸光分析に関する研究」